



杜協ふくし祭

ゆいっこ広場 in 千厩開催

ふれあいネットワーク

いちのせき

杜協

第17号

だより

〔2010年11月30日発行〕



10月17日(日)秋晴れのもと、「人と心を地域で支えるまちづくり」をテーマに開催したゆいっこ広場には、市内及び近隣から750人が参加して終日賑わいを見せ交流が図られました。

地元の愛宕花相撲保存会による「赤ちゃん相撲・花相撲披露」で開幕し、ふれあいサロン活動発表、防犯啓発の寸劇、ふれあい作品展、消防署による防災展、ボランティアによる大型紙芝居・絵本の読み聞かせ、キラりん一座上演会、炊き出し訓練、むし歯相談、パトカー・白バイコーナー、福祉施設等各種団体による新鮮野菜や乳製品の販売、美味しさいっぱいの模擬店等が出店されました。

福祉車両紹介、動物とのふれあいコーナーやキッズコーナー等も合わせ、市内から関係25団体のご協力をいただき、市民の皆様へ地域の福祉活動への理解を深めてもらう絶好の機会となりました。

(詳しくは2ページの千厩支部通信)



この広報は共同募金の一部をあてて発行しております。

支部通信

一関支部

一関地域敬老会検討委員会の開催 ～敬老会のあり方を検討～

現在、高齢化、核家族化及び人口減少が進んでおり、地域における高齢者を取りまく福祉課題は増加していることを踏まえ、一関支部では敬老会のあり方を含め、高齢者に対する福祉施策はどのようなあればよいのかについて検討する会を開催しました。

この敬老会検討委員会は一関地域の八地区の福祉活動推進協議会から推薦された委員を中心に、八月二十七日から十一月十日までの計四回の協議を経て、検討した結果を十一月十一日に一関市長へ提言書として提出したところであります。

その内容は、「敬老会に関する課題の解決は、それぞれの地区福祉活動推進協議会に委ね、改善可能な部分から着手していくこととし、そのために地区福祉活動推進協議会の裁量権の拡大について配慮願いたい」というものでした。

今回は「敬老会のあり方」に重点を置き検討をした訳ですが、協議過程の中で敬老会のあり方に留まらず、「高齢者に対する福祉のあり方を根本的に考え直す時期にきているのではないか」との意見も出されたことから、今後「高齢者福祉のあり方について」を議題として検討を重ねていく方向を示唆し、この度の検討委員会を閉じました。

花泉支部

寒さ吹き飛ぶ！冬のスポーツ交流会

花泉地域では毎年、十二月の障害者週間にちなみ、身体・知的・精神に障がいを持っている方々が一堂に会してのスポーツ交流会が開催されます。今年は第十二回で十二月八日開催です。市及び地域内の障害者団体が実行委員会を組織し当社協花泉支部も協賛団体としてお世話をさせていただいています。

ゲートボール、輪投げ、ゲーゴールゲーム、ニチレクボール、卓球、フライングディスク、シャッフルボード、ジャンケンペタンコ等、おなじみの種目から聞きなれないニュースポーツまで様々な種目が花泉体育館で展開され例年一五〇名程の参加があります。

参加した方々はそれぞれのペースで会場をまわり、スポーツを通じて交流を図ります。誰でも楽しめる気軽さで、会場は終始なごやかです。

競技時間が終わると次は昼食交流会。食生活改善推進協議会花泉支部の皆さん



が栄養バランスを考え調理したおいしい昼食で体を温めます。

同じ地域で暮らす障がいをお持ちの方やその家族のふれあいの場として、今後とも回を重ね、継続していきたいものです。

大東支部

「中里地区の福祉活動を視察」 浜民地区福祉活動推進協議会

十一月十一日（木）に浜民地区福祉活動推進協議会の平成二十二年度視察研修が行われ、同地区の会員三十名が参加して、今年度は市内で先進的に福祉活動に取り組んでいる中里地区を視察しました。

当日は阿部副会長と辻山事務局長に地域特徴や事業について講話をいただきました。

中里地区福祉活動推進協議会は平成元年に設立し、一昨年には二十年の節目を記念して記念誌「地域福祉の二十年の記録」を発刊。年三回の会報発行や住民アンケート調査の実施等、常に住民に意識付けをさせる工夫を行ってきました。ひとり暮らし高齢者には、小中学校の協力を得て暑中見舞いハガキ、年賀状の作成や運動会への参加を実施。玉入れ競技への参加は大変うれしかったと、みなさん喜んでいました。

そうです。浜民地区福祉活動推進協議会の佐藤会長は「対象者に喜ばれることが一番大切。同じ事業をただ毎年繰り返すのではなく、見直して必要とされる事業を考えていく必要があると感じた。」と今後の活動に役立たせたいと話していました。



千厩支部

「皆さんどうもありがとうございます」 いざいしました」

*ゆいっこ広場のふれあい作品展では、ふれあいサロンの会員の皆さんが丹精込めて作った作品が販売されました。アクリルたわし二個一〇〇円、エコバックは三〇〇円、立派なエプロンたった七〇〇円、みんな手作りのステキな物ばかりです。しかも古布等資源を再利用した物がほとんどです。「なんと！わたし達年寄りの作った物が売れたヨ」とおばあさんが喜んでいました。思い切った出品



して良かったですね、私もうれしいです。
 ＊ふれあいサロン活動ステージ発表では、サロンで健康づくりに行っているニギニギ体操やボール運動、踊りを発表しました。健康な方、高齢の方、体の不自由な方、いつもと同じように音楽に合わせて「ハイ！ズン、ズン、ズンドコ・・・」楽しそうなお中にも一生懸命な姿に感動しました。
 ＊リハビリ作品コーナーで紹介した「一筆箋」や「絵葉書」の優しい絵。そしてデイサービス等の利用者の皆さんの力強い作品。これからの様々な作品に挑戦して下さい。
 ＊犬はいいですね。かわいくてお利口な柴犬が三匹参加してくれました。ウサギにもひよこにも癒されましたね、ありがとうございます。
 ＊公園の木々も大分色付き、間もなく冬の訪れと共に「歳末たすけあい運動」を迎えます。地域の皆様のご協力により一つひとつ事業を進めることができますことに感謝を申し上げます。



ひとり暮らし高齢者のつどい
 十一月九日(火)東山地域交流センターにおいて、今年度二回目のひとり暮らし高齢者のつどいを公民館で行っている中央婦人学級と合同で開催しました。
 今回は、三十六名の方々が参加しました。十時の開会でしたが八時過ぎには会場に早々到着した方もいたようです。
 つどいは、人形劇サークル「つくしんぼ」による人形劇「千里の草鞋」に始まり、げいば幼稚園や長坂保育園の園児達によるダンスの披露、東北電力の方による「ひとり暮らし 電気の安全な使い方」と題し電気器具等の安全な使い方や災害時の対応方法等の説明を受けました。
 その後、中央婦人学級の生徒さん達がIHクッキング調理器の使用方法的勉強で作成した「鮭の混ぜ寿司」・「チキンカツレツ」・「麻婆大根」・「もやしの和え物」・「キノコのお吸い物」・「抹茶ムース」をみんなで一緒に食べ交流を深めました。



キヤップハンディ体験
 十月十四日に室根東小学校でキヤップハンディ体験教室が行われ、同校の四年生十六人が車いす、視覚障がい体験をしました。
 一カ月以上前から車いすを教室に置き触れ親しみ、体験ビデオで事前学習をして今回の体験教室へ臨みました。
 車いすの体験学習は、体育館で重ねた畳の上での移動・旋回・複数人で協力しての段差の昇降等の体験をしました。
 視覚障がいについては、体育館から教室までの約三十メートルを一人ペアで、一人がアイマスクを着け、一人がガイド、周りの状況が目視出来ない状態での歩行は、不安感とガイドのありがたみを肌で感じる事が出来ました。他にも視野狭窄、白内障の体験も行いました。
 「障がいの大変さ、不自由さ」を感得するとともに、お互いに「思いやりの心」を持つて接することの大切さの学習が深まったようでした。



一足お先に、雪見風呂
 精神障がい者家族会かわさき虹の会の交流事業「やまびこ教室」を、川崎町手をつなぐ育成会との共催で、十月二十八日(木)北上市和賀町の夏油温泉で開催しました。
 総勢二十八名を乗せたバスの外は、ダム湖を過ぎ夏油高原を登り始めた頃から、雪景色になりはじめました。昇るにつれ色鮮やかな赤や黄色・緑の織錦に真っ白な綿帽子といった風情に加え、深い渓谷から沸きあがってくる霧が、非日常へと引き込まれます。
 昼食後、多々ある露天風呂へと思いつつも寒さゆえ、揃って内風呂へ行くことになりました。浴場の大きい窓の外は笹藪にたつぷりの雪、一足早い雪見風呂となりました。ゆつくりお昼寝して帰る頃、宿泊の外国人一行が到着して、こんな山奥にもよくまあ、などと言いつつながら白河夜船で山を降りました。

東山支部

室根支部

川崎支部

地域活動団体紹介

ボランティア根っこ会 大東

ボランティア根っここの会は平成三年六月に社協で開始した配食サービスの配達ボランティアが、連携を図りながら安定したサービスを提供できるようにと平成九年八月にグループを結成。

現在、町内の利用者に配食弁当を届けながら声かけをして安否確認も行っています。

「弁当を届け、いつもと変わらない様子を確認して利用者さんから『いつもありがとう』と感謝の言葉をいただいて私たちも活動のやりがいを感じています」と小山会長。会員相互の交流もあり、いつも笑顔が絶えない楽しいグループ活動に取り組んでいます。



ワークハウス雲 東山

九月十四日よりNPO法人ワークハウス雲（渡邊知子代表）の第二作業所（東山町長坂字町）に厨房を設置し弁当の宅配サービスを開始しました。

ワークハウス雲は、引きこもりや不登校、障害のある方々を対象に生活支援をしており、今回の弁当の宅配で利用者の社会参加を促し、地域住民との交流につなげることを目的として計画し、地元の有志の協力を得て開始したものです。

宅配サービスは毎週火曜日と金曜日の二回行い、魚と地元産の野菜等を中心にし揚げ物を控えたヘルシー弁当と、肉や魚、旬の野菜をバランスよく取り入れた四季彩弁当の二種類で実施し、おかずのみの注文も受け付けています。

また、複数注文される方には、配達代の割引や、東山地域以外の方についても作業所まで取りに来てくれるなら注文を受けることとしています。配達日の二日前までに注文すれば配達すること。問い合わせは、「雲」のお弁当屋さん〇一九一―四七―二九三九へ



じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金

（十月一日から）

共同募金は、民間福祉事業を支援するため、社会福祉法により制度支援されている募金です。

寄付や募金活動という誰もが参加できる活動を通じて、社会福祉に対する理解を深めていただくとともに、併せて募金のご協力をお願いしているところです。

都道府県ごとに社会福祉法人の共同募金会があり、市町村には共同募金会の内部組織として、分会（関市分会）が設置されています。

平成十二年に社会福祉法改正により共同募金が地域福祉を推進する募金に位置づけられたことから、今後一層共同募金会と社協の連携を密にし、地域福祉事業の推進を図ってまいります。

目標額 一八、三五〇、〇〇〇円

十月二十九日現在の実績

戸別募金	一九、六四〇円
街頭募金	九、二三六、〇九一円
法人募金	一四八、五七九円
学校募金	五二五、〇〇〇円
職域募金	八、三七〇円
イベント募金	二二三件
個人・その他	一三三、五六二円
	八、四三五円
	一九、八六四円

合計

一九、八三六円
一〇、〇七七、九〇一円



10/1 たんぽぽ保育園の皆様 一関サティ

歳末たすけあい運動募金

（十二月一日から）

「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに、歳末たすけあい運動募金をお願いしています。

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする方々に対し、地域で安心して暮らすことができるよう生活支援を中心に、助成を行ってまいります。

市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

目標額 二一、八〇〇、〇〇〇円



南小学校の皆様（平成21年度）

介護者の集い

在宅で寝たきりや障がい等により常時介護をしている介護者を対象に、「在宅介護者の集い」が十一月十三日（土）～十四日（日）、宮城県大崎市『仙庄館』で開催されました。この事業は社協が主催する一泊のリフレッシュ交流事業で、レクリエーションや会食、入浴を楽しみながら日頃の疲れを癒し、気分転換してもらうことを狙いとしています。今回は介護者等二十四名が参加、交流を深めました。

同集いではレクリエーションインストラクターでもある社協職員が進行し、『脳元氣レクリエーション』と題し、手や指を動かし脳を活性化させ、唄やダンス等も行いました。簡単そうで難しい動きに、



参加者の笑顔と笑い声の絶えない時間となりました。ダンスの最後には自分自身の心と体を抱きしめ、日頃の自分を労わり感謝する時間を過ごしました。

また、会食懇親では家庭での介護の様子や体験を話し合い、交流の場となりました。日頃の苦労話も尽きない中、参加者からは「このような機会を提供してもらい感謝している」「楽しかった」等の声がある一方、「もつと沢山の参加者がいれば交流も広がったのに」等、介護者がこの事業に寄せる期待も大きいようでした。

また、社協では、在宅介護者の集い（日帰り）を来年二月に予定しております。多くの方に参加していただき、情報交換、リフレッシュしていただきたいと思います。

お知らせ①

生活福祉資金

所得の少ない世帯、障がいを持つ人や介護を要する高齢者が同居している世帯に対して、低い利子（一部無利子）で資金を貸し付けることによって、経済的自立と生活意欲の助長、社会参加の促進を図る貸付制度です。

◆資金の種類

1. 総合支援資金

収入の減少や失業などにより、世帯の生活維持ができなくなった等、生活の建て直しのための貸付資金です。

2. 福祉資金

福祉費

福祉機器の購入や、商売・技能習得・引越し・住宅改修等の経費、また、日常生活上一時的に必要な経費等をお貸しするものです。

緊急小口資金

緊急的かつ一時的に世帯の生計維持が困難となった場合の貸付資金です。

3. 教育支援資金

高校、大学、短大、専門学校（専修学校専門課程）への就学に際し、入学金・制服等の就学経費と、授業料・通学定期代等の就学経費をお貸しする資金です。

4. 不動産担保型生活資金

今お住まいの居住用不動産を担保に生活資金をお貸しするものです。

◆借り入れの申込・相談

借入申込人は、借入申込書に必要書類を添えて市町村社会福祉協議会に申し込みます。お申込みになる資金種類によっては、民生委員の確認調査があります。

また、この資金を借りるためには、原則として連帯保証人をつけなければなりません。なお、連帯保証人をつけない場合でも、有利子となりますが、申込みすることができます。

資金を借りる人と資金を使う人が別な場合などは、連帯借受人をつけていただくこともあります。

各資金とも、記載された内容以外に、貸付世帯要件やその他の条件があります。貸付限度額や返済条件、申込書類の書き方や必要書類など詳しい内容や相談は、地区の民生委員さん又は社会福祉協議会各支部にご相談下さい。

お知らせ②

緊急連絡カード

「地域で安心して暮らすために」

ひとり暮らし高齢者・寝たきり者・重度障害者等の災害弱者に対する緊急時や急病等の支援活動のための緊急連絡カードを整備しています。

対象者は緊急時に連絡が必要と認められる六十五歳以上のひとり暮らしの方、日中訪問者が必要と認められる在宅の寝たきり・認知症高齢の方、又は重度障害者の方、緊急時に見守りが必要と認められる方で、一関市民生児童委員連絡協議会の協力を得て配布しています。

カードの写しは本人の了承を得て、一関市災害時要援護者避難支援連絡会議に配布し、緊急時に活用します。詳しくは、訪問された民生委員さんにおたずねください。



地域への暮らしを考える

第二回講座

五回連続講座

〈共同企画〉

第二回講座は七月十五日に「老後の楽しい暮らしかた」と題する岩手県金融広報アドバイザーの高橋典子氏の講演と、「地域資源を生かして地域力アップ」のため現在取り組んでいる事例について、南沢神楽の石川浩氏による発表で展開されました。

高橋氏は、老後の生活設計に当たり物・人・金との付き合い方が重要になってくるとして特に、モノについては生前に自分が始末しておくこと（残された人にとって、ほとんどのモノはゴミ。又モノを整理することがシンプルな生活につながる）を、ヒトについては交流の場を確



保しておくこと（ヒトとのふれ合いが認知症予防につながる）を、カネについてはほどほどに準備しておくこと（カネにこだわることなく、さりとて不測の事態が生じた時にあわててくることのないよう）を強調。殖やすことはむしろいいことであるから、生活に創意工夫をこらし、節約に努めるべきであること（利益になる仕事を始めるよりは、害になるものを取り除くことのほうが大事）を話されました。

又、高齢者がこころがけておくべきこととしての①活躍の場をもつ、②記憶力の保持に努める（認知症の予防につながる）、③くつろぎの時間を過ごす（シンプライフを心がける）、④継続する（継続の中で何を発見するかが大切になってくる）、⑤好奇心を抱き、それを行動に結びつけていくこと。そのための指針として「あこがれの人」を持つことも良いとしてチューダー、高峰秀子の名を挙げられました。

石川氏は南沢は南部神楽源流の地であること、栗原寺（栗原市）から奥州平泉への「東下り」のルートが地域内に存在している、歴史的な土地であることを強調

調。特に神楽については南沢をPRする手段として自主公演を含め積極的に取り組んでいると話されました。

地域振興策として①「EM工房・萩の里」（米産直）の創立、②岩手・一関純情里芋の契約栽培、③古民家を活用した「農家レストラン」の開業予定、④平成19年度開設の「産直所」の充実、⑤水質浄化に取り組んだ結果ホタルが増えたことから「ホタル見学会」を企画中、⑥鳴子温泉郷への最短コースに当たることから特大の鳴子けしの寄贈を交渉中であり、これらを組み合わせながら地域の活性化を図ってまいりたいと結びました。



第三回講座

第三回講座は九月十八日に「金の駒を生む自治会活動」と題し、室根第十二区自治会長三浦幹夫氏による講演と、「地域ビジネスへの挑戦」と題する同地区のひこばえ食工房代表小野寺寛氏による実践事例発表で展開されました。

三浦氏は自治会活動における基本的な認識として「地域社会があつて、個人生活が成り立つ」ということ。往々にして逆に考える人がいるが、それでは地域活動は成立しない。そのうえで、活動を展開するに当たっては次の四つは欠かせない要点となる。

一つは共通課題の認識。共有化が図られるまで徹底して話し合いを行う。この

場合にあつて説得よりも納得してもらうことが大切だ。

二つは地域特性と地域コミュニティを重視すること。今、此処でなければできないことは何か。そのためには他所からの視点が大事になってくる。交流の促進である。幸い、室根第十二区の場合「森は海の恋人」植樹祭に集う全国各地の人々がいる。

三つは自らの手で地域の経営を担うという心構えを持つということ。年会費一世帯五千円をいただいているが、この金額でできることは限られてくる。故に県事業委託金や市事業補助金等の導入を図る、行政との関係では依存することなく自立の方向を模索する中で信頼関係を構築していく。

四つは事業を展開していくうえで必要な組織を形成するとともにマンパワーの育成に努める。そのためには参加することが楽しいという気運を醸成することも大切だ。これらを中心にして、確実に実績を重ねていく。このことが結果として、住みつけたい地域となっていくものと考ええる。

次いで、小野寺氏は自然をそのまま活かせる農業を模索中に「森は海の恋人」運動に出合ったこと。海と山はそれぞれ



別のものではなく、つながっているものであるという思いを、学習を重ねるにつれ深めていき、それが地域づくりへと連動していったこと。平成四年に「水車のある集落づくり構想」を策定したが、その具体は次の三点。

一つは針葉樹林から水源滋養広葉樹の森づくりへ。

二つは水車小屋の復元。

三つは環境保全型農業の推進である。住み良い地域は環境保全の視点を導入した諸活動から生まれる。こつとん市市の開催、特産品矢越かぶの復元、ひこばえ食工房の創設等は一連の流れから発送し継続的に展開しているもの。水車と言えは思い浮かぶのが蕎麦であろう。今後は遊休農地を活用してソバを栽培し商品化に取り組んでいきたい。」とのことだ

した。両氏の発表内容は自然生態系の保全・再生が生物多様性を育み、すべての生物が連鎖の中でつながっていることを確信させる内容でした。

第一回から第三回までの抄録をご希望の方は一関公民館、いちのせき市民活動センターないしは社会福祉協議会まで。

移送サービス 運転ボランティア募集

福祉協議会では、在宅の寝たきり高齢者等の移動困難者を対象に、医療機関や福祉施設への通院、入退所の外出支援を行う事業を、市から委託を受け実施しておりますが、運転ボランティアが不足しております。

そこで、運転ボランティアにご協力いただける方を募集しております。皆様の「たすけあいの気持ち」を地域福祉充実のためにお貸しください。資格は、普通免許一種以上で直近の三年間に違反、事故を起こしたことが無く、運転免許停止処分を受けていない方です。一種の方は、自動車学校で一日の講習を受講していただきます。

申込・お問い合わせは、社会福祉協議会各支部まで。

まごころ寄附

平成22年9月から平成22年10月までに、市民の皆様からご寄附がありました。

一関支部

赤荻字上袋	どんぐりの会	会長 北岡 実様	40,000円
城内		柴田千穂子様	50,000円
		匿名	14,000円
		匿名	50,000円
		匿名	2,000円
		匿名	50,000円

花泉支部

永井字薬師沢		佐藤 秀行 様	100,000円
花泉字袋		橋本 敏子 様	50,000円
涌津字中町		佐藤 益雄 様	50,000円
日形字小野		高橋 龍二 様	50,000円
花泉町	昭和15年度老松小学校卒業生		
	代表 千葉 房雄 様		28,444円
日形字井戸沢		小野寺陽一 様	30,000円
花泉町	クラブ らば～そうる 様		19,440円
花泉町	御嶽山御嶽神明社		
	宮司 佐藤教昭様 総代長 奥山喜美雄様		25,850円

大東支部

猿沢字山崎		荻生 貢様	100,000円
大原字岩谷堂		菅原 俊昭様	50,000円
渋民字和田沢		佐藤 和男様	50,000円
猿沢字岩婦		佐藤 クニ様	50,000円
鳥海字小森		佐藤 征也様	100,000円
千葉県印西市		佐藤 尹一様	30,000円
大原字高場		芳賀 成吉様	30,000円
曾慶字柳森		菅原 信雄様	100,000円
猿沢字中野台		千田 和夫様	50,000円
中川字川ノ畑		鈴木 正英様	100,000円
大東町	大東芸術文化協会摺沢支部		
	支部長 小原 松一様		50,000円
鳥海字上野		八重樫勝雄様	30,000円

大東町 一関市老人クラブ連合会大東支部

支部長 菊池 晃様	3,000円
鳥海字前畑	伊東 庸一様 30,000円

千厩支部

千厩町	千厩小学校卒24、25年生還暦祝年者一同様	100,000円
千厩字石堂	(有)家具の小野寺様	5,600円
千厩町	千厩町民生児童委員一同様	10,000円
千厩町	千厩ライオンズクラブ様	50,670円
千厩字摩王	白石 久次様	100,000円

東山支部

田河津字高金	佐藤 隆吉様	50,000円
松川字滝ノ沢平	鈴木 昭一様	100,000円
長坂字羽根堀	長坂商店街協同組合	
	理事長 渡辺 和敏様	29,668円
長坂字羽根堀	鈴木 子郎様	30,000円
長坂字久保	藤森 実様	30,000円

室根支部

矢越字朴木	渡邊 精一様	50,000円
津谷川字横沢川	佐藤 勇様	30,000円
矢越字大畑	小野寺栄治様	30,000円
矢越字高沢	鈴木 正博様	50,000円
折壁字田茂木	熊谷 篁様	20,000円
矢越字枇杷沢	岩淵 宏紀様	100,000円
	匿名	5,000円

川崎支部

薄衣字諏訪前	吉田 光子様	50,000円
門崎字館畑	千葉 清保様	50,000円
門崎字所萱	小野寺徳美様	50,000円

ホームページに関する
お問い合わせ先

社会福祉法人 一関市社会福祉協議会ホームページ

http://www.ichinoseki-shakyo.com E-mail : info@ichinoseki-shakyo.com